

第3回住まいの断・密力強化方策研究会

議事要旨

- 1 日 時 令和2年1月24日（金）14時～16時
- 2 場 所 京都ガーデンパレス 橘
- 3 出席者 別添名簿のとおり
- 4 議 事
 - ・省エネ・断熱住宅の普及に向けた今後の方向性について、これまでの研究会での議論を踏まえ、事務局から複数の施策・事業案を提示。各案について、実施可能性や検討すべき課題、期待される効果等について議論。
 - ・京都府地球温暖化対策条例の改正にかかる検討状況を事務局から報告し、意見交換。

【主な意見】

（1）府内における省エネ・断熱住宅の普及に向けた今後の方向性について

■ラベリング表示実証事業について

- ・工務店の協力が得られるのであれば、事業実施に異論はない。車の燃費性能と同じように、住宅の省エネ性能が世の中に浸透してほしい。
- ・基準適合やラベリングに向けた取組が評価される仕組みがないといけない。BELSによる評価には手間がかかるのも確か。実証事業に協力してくれる工務店を府が公表してアピールする仕組みがあるとよい。
- ・省エネ基準を疎かにする元請けも存在しており、同基準を満たさない建築物が建てられる要因のひとつとなっている。
- ・省エネがコストに見合っているか消費者は判断できない。作り手からだけでなく、消費者が、省エネが必要だという意識になるようにしなければならない。例えば、健康リスクラベルも一緒に表示できるような仕組みにして、どちらを選びますかというような選択肢を与えられるとよい。
- ・中小の地元工務店には、信用力向上の視点から、何かしらの府の支援があると、省エネの取組も進むのではないか。
- ・民間での取組を促すためには、公共建築物で模範となるような建物が必要ではないか。

■住宅の省エネ性能簡易診断シート実証事業について

- ・現在の住宅について、ざっくりと体感を聞く質問方法も考えられる。診断結果が「検討の余地有り」に傾くかもしれないが、消費者が考えるうえではすごくいいきっかけになる。
- ・長期優良住宅のように、例えば省エネ、耐震等項目ごとに5つ星評価を行うと、消費者に分かりやすく診断結果を伝えられるのではないか。

- ・ 診断シートの初期段階の実証であれば、温暖化防止活動推進員の協力も得られるのではないかと。診断シートの質問に、室温や体感を入れたり、実際に室温を温度計で測ってもらう機会を作るのもよい。例えばイベントで、カード（シール）型の温度計による啓発と一緒にできれば、温度計測も可能。
- ・ 診断シート事業もラベリング制度も、例えば緑の事業体など、既存の制度に合わせていくと効果的で、工務店側もメリットになるのではないかと。
- ・ 温度の計測と体感への質問は有意義。加えて、どのような機械で暖房しているかを質問することで、結露の仕組みなど、建物だけでなく、住まい方も示せるようになる。また、「すきま風を感じるか」という質問のように、気づきにつながる聞き方をするとよい。
- ・ 発泡断熱材の木材付着による廃棄時の環境負荷を避けるため、自然素材の断熱を採用している工務店があるが、断熱性能のアピールは意外とできていない。そのような工務店をうまく巻き込むことで、ユーザーへの断熱性能にかかる理解の向上が進むかもしれない。

■ ZEH 宿泊体験事業について

- ・ 体験、触れてもらう機会は重要。経験からの推測より体験による実感がよい。
- ・ 宿泊事業となると運営面・費用面でハードルは高い。宿泊までいかななくても、見学会を開催するだけでも良いし、それも難しいのであれば、住んでよかったという声を集めることでもよいのではないかと。
- ・ 商売につながるような仕組みとして、京都府下一斉で見学してもらう等、イベントとしての展開も考えられる。
- ・ 既築も対象なら、部分断熱改修の見学会や改修前後の温度をサーモグラフィで提示することも考えられる。集合住宅も対象なら、公共住宅の部分的な改修や、改修の有無の両方を見せる見学会の方法もある。

（2）京都府地球温暖化対策条例等の見直しについて

- ・ 延床面積 300～2000 m²への再エネ導入義務化は実施すればいいと思う。一定規模以上の建築物を建てる者は条例の義務だけでなく、社会的な義務も満たす必要があると考える。
- ・ 今後、建築物を建てるにあたり、省エネ性能等も含め、100年後に耐えうるものが求められている中で再エネの導入義務基準を上げるのは必須ではないかと。
- ・ 公共建築物についても、実質ゼロエネの建物が求められる。

（3）今後について

- ・ 本日頂戴した御意見をもとに京都府で企画案を練り上げていきたい。
- ・ 実際に事業を展開する場合には、委員の皆様にご協力いただきたい。
- ・ 研究会については、今後、必要に応じて開催する。